

ケアマネ かわら版

2017年
12月号

Vol.54

松江地域介護支援専門員協会

事務局:〒690-0044
松江市浜乃木2丁目15-32
ゆめ福居宅介護支援事業所(内)
TEL(0852)61-6900
FAX(0852)61-6902
E-mail:matsue-cm-kyoukai@marufuku.co.jp

医師とケアマネの 合同研修会

第14回 松江市医師会・松江地域介護支援専門員協会合同研修会が平成29年10月26日に松江市民活動センターにて開催されました。今年も100名を超える参加がある中、事例を通してグループ内で熱のこもった意見交換を行う事ができました。参加された先生方に貴重なご感想をいただいたので紹介いたします。

合同研修会に参加して

松江市医師会(伊藤医院) 伊藤 健一

東出雲町で開業しています、伊藤健一です。普段から皆様には大変お世話になっており、この場を借りて感謝申し上げます。

今回の研修会は2つの事例を数班に分かれて検討するというものでした。どちらの事例も、同居している家族と二人暮らしで、普段介護しているキーパーソンはその家族。キーパーソンとの意思疎通がうまくできず苦労する、という症例でした。

昨今、当地では子供たちが実家を出て、遠方で職を得て家庭を持ち、結果残ったのは老夫婦、あるいは仕事を持たない子供、あるいは独居、という場合が増えてきたように思います。集団生活に順応される方は施設に入ることが多くなりましたが、集団生活得意でない方は在宅に残り、外界との接触をも避けられることが多く、援助がしにくい状況になり、保健師さん、民生委員さんも入りにくい状況ができることもあります。結果として介護する方が孤立、疲弊し、介護される側以上に健康を害してしまうことも多く経験しました。

介護されるご本人のケアは当然のことですが、介護する周囲の家族の状態も様々であり、その方々のケアも同じように検討していくなくてはならない時代になったと痛感します。ケアマネさんをはじめとした介護スタッフさんにとっては大変な時代ですが、お互い協力しながら頑張っていきましょう。

ケアマネジャーは扇の要

松江市歯科医師会(高木歯科医院) 清水 潤

10月26日に行われた医師会・ケアマネジャー協会合同研修会に野坂会長、吉川副会長、上田理事、清水の4人が参加しました。先頃、ケアマネジャー協会と歯科医師会とのスムーズな連携を図るために連絡票が作成され、運用が始まったところです。

私は、今回はじめて研修会に参加させていただきました。医療・介護の受け入れが困難な事例検討をテーマとしていただけに、介護現場で関わった方々の苦悩の様子や、あの時このように対応すれば違った結果だったのかも知れない、と2つ

の貴重な事例を通して参加者が真剣に考える姿に感動しました。また、事例報告を聞かせてもらったことで、介護現場の経験が浅い私にとってまさにその場にいるような疑似体験をさせていただき、非常に勉強になりました。

医療・介護の連携は多職種連携だと言われて久しいですが、その説明に患者(利用者)さんを中心として周りを多職種がサークルを組んでいるような概念図がよく用いられます。それを見るたび私は、その中で、では一体誰がリーダーなのか、と考えることがあります。それは当然、医師の先生であると思う人が多いことでしょう。今回の研修会に参加されていた医師の先生方はまさにリーダーに適任だと思います。しかし、介護の現場にいつも医師が関わるかというとそうでもないのだと思います。それは無理だという医師もいるでしょう。医療のスペシャリストが医師であるならば、介護のスペシャリストはやはりケアマネジャーではないでしょうか。介護は患者(利用者)さんの心身のみならず家族や地域社会、時には法律の解釈まで含めた対応が必要で、総合的な判断が求められるということを、この研修会



で教えられました。まさにケアマネジャーはその人の人生、生活をサポートするLife Doctorなのですね。そう考えると、サークルの形は円形ではなくて、扇なのです。その扇の要にはケアマネジャーがいるのです。扇は要が壊れると役目を果たせませんね。

これからも益々のご活躍に期待しています。さらに歯科医師会との連携もよろしくお願いいたします。



特集～高齢者の運転について～

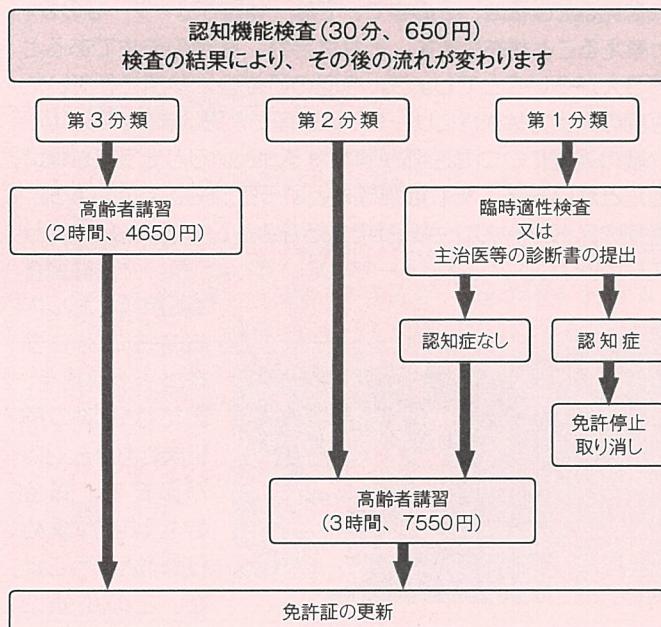
高齢者が運転していた車が交通事故を起こしたというニュースを多く聞きます。実際に担当している方が単独事故を繰り返して…なんていう事例を持っているケアマネジャーも少なくないかもしれません。今回、高齢者の自動車運転について改めて考える機会になればと特集で紹介いたします。

11月某日、島根県免許センターを訪問し、島根県における高齢者の交通事故状況等をうかがいました。

○警察庁の統計によると、近年、車両運転者の交通事故は全体では減少していますが、65歳以上は増えていて、加齢が進むほど増加する傾向にあるようです。

○免許自主返納は増えてきている現状です。
高齢者運転免許自主返納支援事業の、松江市版について説明いただきました。

(図1) 75歳以上の講習の流れです。



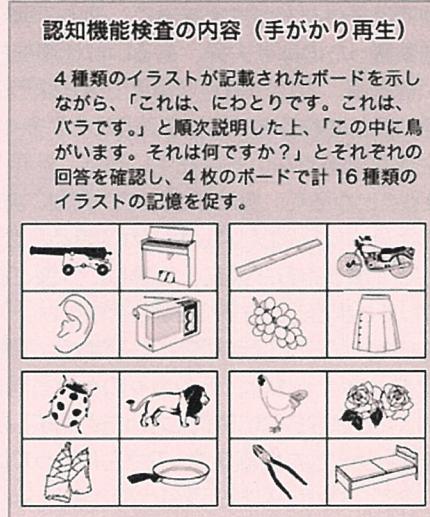
※詳しくは島根警察HPで確認するとタクシー、バスの割引制度や各団体、自治体による支援の詳細が乗っていますので、是非確認してみてください。

松江市では運転経歴証明書の提示でガソリン代の割引が受けられます。免許返納でガソリン代割引というのもおかしい話ですが、自分で運転できない分、家族に乗せてもらう機会も多くなることでしょう。貴重な情報です。

※運転経歴証明書は免許センターや松江警察署で希望の方に交付されます。免許返納で顔写真入の証明が無くなるため、希望される方も多いようです。

(図2) 認知機能検査の一例です。

4種類のイラストが描かれたボードが4枚提示され、検査員の説明を受けながら記憶をします。



福祉用具レンタル・販売・住宅改修

フィット
Fit up アップ

介護保険事業者番号 3270103058

株式会社 かすみコーポレーション フィットアップ
〒690-2103 島根県松江市八雲町西岩坂329-1
TEL:0852-67-3323 FAX:0852-67-6390

サービス付き高齢者向け住宅
花きんハウス 東出雲



現場力!!

〒699-0111 松江市東出雲町意宇南5-4-1
TEL:0852-67-5010 FAX:0852-67-5011
ホームページ: <http://hanakirin.net>

○認知機能検査について、今年3月に改正道路交通法で、75歳以上のドライバーは、運転免許の更新時に受け認知機能検査で認知症の疑いがあると分かれば医師の診断を受けることが義務づけられました。(図1、図2参照)

認知機能検査の様子を見せて頂こうか…と考えていましたが、検査は免許センターではなく、自動車学校へ

実際に免許返納された利用者の方の事例を、ご本人のコメントも入れて紹介致します。

**Aさん、74歳、男性、要支援1
自宅で妻と二人暮らし、家族が市内在住**

脳腫瘍による高次脳機能障害、軽度の注意障害。家庭生活は概ね自立。時々、車を擦ったりぶつけたりしていた。平成29年6月の入院治療、退院に向けて主治医より車の運転禁止の指示。本人は「車の運転はできるし、できなくなると困る。」と納得いかない。しかし「事故を起こしたら、自分一人でなく、相手も家族も大変だ。」と家族や周囲からの説得の末、車を手放す決意。車庫に車があると運転してしまうので、売却した。

病気の状況について、自ら地区の会合で説明。通院はバスや家族の送迎、近所の人が出かける都合に合わせて乗せてもらうこともある。近所へ出かける用事があれば、近所の人に乗せてもらう等協力体制ができた。

ご本人のコメント

今でも車を運転できると自分では思っているが、周囲から言われる所以仕方ない。不便ではあるが何とかやっています。

終わりに

今回の取材を通してケアマネジャーは高齢者の自動車運転について、関心を持ち、きちんとした知識を身につける必要があると改めて感じました。そして、免許を返納したその後の生活をイメージする。運転しなくともその人がその人らしく生活できる仕組みを考えていく。私たちケアマネジャーが地域課題に着目していく必要があると改めて考えることができました。

広報部

**株式会社原商
スマイルケア**

福祉用具のレンタル・販売・住宅改修

宍道事業所
松江市宍道町白石81-10
TEL 0852-66-3900

松江事業所
松江市西法吉町36-28
TEL 0852-32-0294



予約して実施しているということでした
免許センターでの聞き取りをさせていただき、知っているようであらなかつた情報がたくさんありました。

お忙しい中、丁寧に対応していただいた島根県警察本部 交通部運転免許課の堀江 様に感謝いたします。本当にありがとうございました。

**Bさん、78歳、男性、要介護1
サービス付高齢者住宅、家族が市内在住**

糖尿病性の視力低下により、薄暗い時間帯やトンネルの視界が悪い。家庭生活は概ね自立。時々、車を擦ったりぶつけたりしていた。

家族が心配していたところ、自ら運転免許を更新しないと決断。平成29年4月の運転免許更新を行わず、運転を止める。

出掛ける用事があれば、タクシーを利用する。
一人で出かける事が難しい場合は、住宅サービスで同行支援している。

ご本人のコメント

目が見えないので運転できない、不便だがしようがない。
そんなに外に出かける用事も無いし、何かあればタクシーで出かけるよ。

働くあなたの支援!困ったときのお手伝いサービス



お洗濯代行サービス

ご自宅・病院・介護施設へ取りに伺います!

0120-137-656
アイカム 株式会社 松江市東長江町902-53

* * * 3年未満のケアマネ研修に参加して * * *

松東地域包括支援センター 藤原由美子

私が初めてこの「3年未満のケアマネ研修」に参加させて頂いたのは、ケアマネデビュー半年過ぎた頃でした。新しい職場で新しい仕事に就く事自体、ドキドキの日々。出勤初日より毎日誰かの身に何かが発生し、何から手を付け、どう動いたら良いのかがわからない。2年前に専門研修過程で厳しく叩き込まれた筈なのに、ケアマネジメントの基本であるP(Plan) D(Do) C(Check) A(Action)が回らない、回せない。「更新手続き」「変更申請」。言葉は知っていても対応・処理の仕方がわからない。落ち度があっても、その事自体に気づけない事が更に事態を複雑にしてしまい、自己嫌悪。空回り、落ち込んでいた時に声かけ頂き参加。その時に印象に残った言葉が「何がわからないのかが、わからない。」そう! そうなんです! 共感してもらえた事に私は救われ「共感」を肌で感じられた瞬間でした。

今回の研修は「アセスメントの視点を学ぼう」と「経験の少ないケアマネ同士が交流し仲間作りができる。」を目的とし、内容は事例をもとにグループワークでアセスメントの視点を学び、その後グループトークで情報交換。最後に他のグループワークのまとめをお互い見て回り、自分と共有できた面や足りない視点を知るという流れで進みました。

個々が出し合ったアセスメント情報を基に、ご本人が望む暮らしとは何か?をグループで意見交換し他者の視点を見聞きする事で、自分自身に医療・看護への視点が足りて

いない、又、視点に偏りがある点に気付く事ができました。

アセスメント力につけるには研修参加や自ら学ぶ努力で実践を重ね身につける事ができる筈。仕事自体は数多くの経験を積み重ねる事でツールが増え、できない事が出来ていくに変わる筈。新人はツールも経験も少ないので悩み苦しみます。

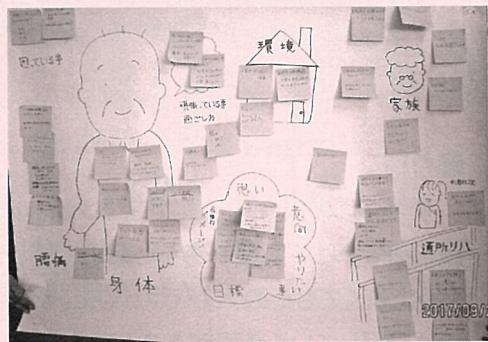
3年未満ケアマネ研修は年齢、職種、経験に違いあるものの、「3年未満のケアマネ」という点では共通している。有資格者、経験豊富な方々が集う研修では聞きづらい内容も、この研修では「訪問時間はどれくらい?」「話が長くなる人への対応は?」「医師との連携って?」「入力する時間ない。どうしているの?」等、教科書や研修で教わらない、私も知りたい、聞きたい、あんな事こんな事の意見交換が「自分だけじゃなかったんだ。」と安心できる場所。「どうしよう…」の悩み・ストレスを「どうすればよいか!」のヒントや情報が得られる場が唯一、この研修でした。

ケアマネデビューし、働き始めて早2年半が経過。3年過ぎると、この研修には参加できないと思うと残念です。切磋琢磨できる環境に身をおく事は大きな刺激になるので、今後も顔の見える交流の場へ参加しスキルを高めていきたいと思います。

人のワークを見聞きし、自分に足りていない部分に自分自身が気づけるよう磨いていきたいと思います。



(グループワーク) 日頃の気になるところを出し合いました



付箋を分類ごとにまとめたワークシート



らくらくタイコー

福祉用具レンタル・販売・住宅改修
セーフティホーム 24

松江市北田町 63 番地 4

TEL 0852-22-3553 FAX 0852-22-3555

ケアショップ やまと

福祉用具の
レンタル
販売
住宅改修



有限会社 山本梶包 福祉サービス事業部

〒 690-0021 松江市矢田町 36-1

TEL 0852-24-3563 FAX 0852-69-2096

第4回 松江赤十字病院・ケアマネ合同研修会

松江赤十字病院看護師のCです。療養支援係として日頃から患者さまの退院後の生活にも視点をおきながら看護を行っています。

この度9月30日に当院で開催された第4回松江赤十字病院・ケアマネ合同研修会に参加しました。院内外より総勢120名程度の参加があり、今回はケアマネ、薬剤師、ソーシャルワーカー、看護師と多くの職種が集いました。

最初に当院の診療看護師である本田看護師より「多剤併用の弊害」という内容で講義をしていただきました。医療の進歩でとても良い薬がたくさんできています。しかしその一方で必要以上の量の薬を飲んでいることがあるということ、高齢の方は薬の効き目が強く出すぎてしまうことがあるなど、医療者としてとても興味深いお話を聞くことができました。

そして島根県薬剤師会理事・松江市薬剤師会副会長の郡山氏より「島根県薬剤師会相談窓口の案内」と題して地域の薬局・薬剤師さんのお仕事や、かかりつけ薬剤師・薬局照会センター事業のお話を聞いていただきました。地域の一部の薬局では、薬剤師さんが家に訪問してくださり、お薬の説明や管理のお手伝いなど、薬に関する困ったことに対応してくださることを知りました。



薬の効果や薬剤師との連携について多くの学びがありました



(グループワーク) 薬と医療連携に関する気づきがありました。患者さまが退院された後の服薬管理にかかりつけ薬局の薬剤師さんが関わってくださること、看護師としてもとても心強く思いました。これから認知度がさらに上がり、お薬のことでの悩んでおられる方々が、安心安全に在宅で服薬管理ができるといいなと思いました。

講義を聴いた後は、グループごとに経験談を共有し、今回の研修での学びをどう活かしていくか話し合いました。いろいろな職種の視点から意見が飛び交い、充実したグループワークでした。患者さまが地域で元気に過ごせるようサポートしていくにあたり、私たちはそれぞれの職種や病院・地域などの働く場所の特徴を活かしながら、情報を共有し合っていくことが必要であると再確認しました。

とても学びの多い、楽しい研修会に参加でき、満足でした。今回の学びをしっかりと今後につなげていきたいと思います。



最後に日赤院長 秦氏より病院とケアマネの連携について力強いコメントをいただきました

全国介護タクシー協会会員

介護タクシー

ほのか

病院や施設、お買い物の送迎に御電話お待ちしています。

〒699-0203

島根県松江市玉湯町布志名637-96

TEL 0852-62-2206 FAX 0852-62-2306

福祉用具・介護用品の店



本店 〒692-0011 安来市安来町 1083

☎ 0854-22-3652 FAX 0854-22-4222

松江店 〒690-0012 松江市古志原3-7-31

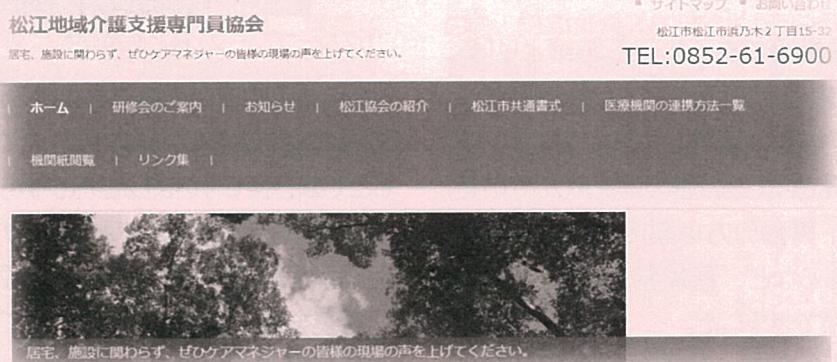
☎ 0852-28-6041 FAX 0852-28-6045

◆ホームページ画面の変更について

松江地域介護支援専門員協会ではホームページを開いて、広く情報の発信やケアマネ業務がより有効に進むよう必要な書式等の掲載を行っております。平成30年1月18日～ホームページのホーム画面が変更になるので、そのお知らせをします。

以前からあるホーム画面と少しデザインが違いますが、メニュー内容は変わりません。スマートフォンでも見やすくなりますので、是非ご活用下さい。

引き続き、皆様に役立てて頂けるような情報発信をしていきますので、よろしくお願い致します。



平成30年1月18日～ホームページがこのようになります。

編集後記

早いもので今年も残り僅かとなりました。この時期になると「あれもこれもしなければいけない…」と気持ちが先走り、心なしか落ち着かなくなるのは私だけでしょうか？気持ちにゆとりが無いと上手くいかない事も多いと思いますので、時々ほんわかする時間も大事かもしれませんね。

さて今年は総合事業がスタートし、地域包括ケア推進の中、ケアマネジャーの役割も改めて問われる年になりました。来年度は報酬改定もあり、私たちを取り巻く情勢も刻々と変わっていきます。そんな変化の中、有効な情報発信が継続してできるよう、「かわら版」の内容もパワーアップしていかなければと思います。

来年もよろしくお願い致します！

<p>眞 明るい ありがたい</p> <p>心 で介護をお手伝いする</p> <p>Joy・Care</p> <p>福祉用具レンタル・販売・住宅改修</p> <p>ジョイ・ケア たいよう 松江店</p> <p>介護保険事業者番号 3270103090 〒699-0408 松江市宍道町昭和22 TEL 0852-67-3291 FAX 0852-67-3292</p> 	<p>えだクリニック 訪問リハビリ</p> <p>経験豊富なPT・OT・ST在籍 お気軽にご相談を！ (特に言語・嚥下リハビリにオススメです！)</p> <p>えだクリニック松江サテライト 住所: 松江市西尾町487-1 エテルノ303号室 TEL: 080-2904-2037(松江担当:石川)</p> 
--	---